

産業建設分科会議録

日時 令和6年6月14日（金曜日）
午前10時07分から午後10時14分まで

場所 第4委員会室

日程

1 開会

2 協議・説明事項

(3) 議案第52号 令和6年度土浦市一般会計補正予算（第1回）

出席委員（8名）

委員長 平石 勝司
副委員長 今野 貴子
委員 竹内 裕
委員 寺内 充
委員 海老原 一郎
委員 下村 壽郎
委員 島岡 宏明
委員 吉田 直起

欠席委員（0名）

説明のため出席した者（15名）

産業経済部長	塚本 隆行	都市政策部長	飯泉 貴史
建設部長	渡辺 善弘	商工観光課長	沼尻 健
農林水産課長	坂本 直親	都市計画課長	鈴木 孝昌
都市整備課長	福澄 雄祐	公園・施設管理課長	中島 賢市
建築指導課長	齋藤 仁志	道路管理課長	滝田 昌暁
道路建設課長	浅岡 武徳	住宅営繕課長	三浦 誠
下水道課長	室町 和徳	水道課長	和田 利昭
農業委員会事務局長	岡田 将之		

傍聴者 0名

事務局職員出席者 古宮 英剛

○平石委員長 ただ今から、産業建設分科会を開催いたします。令和6年度補正予算関係となります。議案書の資料からお戻りいただき、資料は「議案第47号～第57号」、17ページをお開きください。ここからは、分科会としての審査になります。議案第52号令和6年度土浦市一般会計補正予算（第一回）について、執行部から説明願います。

○鈴木都市計画課長 令和6年度土浦市一般会計補正予算（第1回）について説明いたします。議案書は26ページをお願いします。歳出になります。一番下段の7款、4項、1目、都市計画総務費につきましては、前回の委員会でも御説明いたしました。今年度から、つくば市、牛久市、下妻市と連携しまして、デジタルをフル活用したドライバー確保・運行の効率化により、地域公共交通の維持拡大を図る自治体版の自家用有償旅客運送の実施を運行実施するための負担金につきましては、補正をお願いするものでございます。なお、この事業につきましては、国の交付金を活用して行うものでして、一昨日の全体会で説明のありました、歳入16款、4項、6目、土木費国庫交付金のデジタル田園都市国家構想交付金がこれに当たります。補助率は4分の3となっております。説明は以上です。よろしく願いいたします。

○平石委員長 ありがとうございます。ただ今の件について、御質問等がありますか。

○竹内委員 前回のときは、ドライバーバンクとはなんぞやという質問をしたのですが、数日経ちまして、茨城新聞に大きく載っておりました。この間、朝日新聞にも載っておりました。これを踏まえた上で、色々聞いてみたいのですが、要するにドライバーを確保し、4市で10月頃から募集を始めて、新聞紙上でいえば、来年1月からは実証実験に入りたいと。その合計数は76人。76人というのは分類でいうと、つくば市、土浦市、下妻市、牛久市なのですが、土浦市の場合には、まず何名を目標にしているかということが一点。それから、つくば市が事業主体で先行してやるそうですが、つくば市の場合には、登録する人にタクシーが運転できる第二種運転免許を取得できるようなサポートを考えているようですけど、土浦市の場合には、登録した方に第二種免許を取得してもらったほうがいいと思うのですよ。これからやるには。その辺のことも考えているのか。どちらにしたって、募集をかけたら来年1月から実証実験をやるわけですから。それからよく聞かれるのは、年

年齢制限はあるのですかと。この三つにしておきましょう。

○鈴木都市計画課長 はじめに何人かというところですが、土浦市は26人を募集する予定でございます。二種免許のサポートにつきましても、これはつくば市だけに限らず、4市でやっていますので、全市で二種のサポートはしていくというようなことになっております。そして年齢につきましても、運転ができる方がいいのかなと思っていますが、60代であれば全然問題ないのかなと。若い方は18歳から免許取った方であれば、大丈夫だと思います。

○竹内委員 やってみたいような気もするんだよね。それでですね、つくば市の場合は、桜ニュータウンの方と、筑波山を登っていく方と、この二つのコースを想定して実証実験をやるということですが、土浦市の場合は、どこを実証実験の場所を選ぶのか。正直朝日新聞に載っていましたが、知らない方も多いでしょうから、どこのコースを想定しているのか。

○鈴木都市計画課長 土浦市につきましては、公共交通計画では永国台というのが公共交通不便地域で、コミュニティ交通を通す地域だと位置付けておりますので、そこを中心に天川、まだ検討段階ではありますが、それだけだと、乗る人数が少ないだろうと想定しておりますので、下高津、中高津、永国など、ちょっと広げてやっていきたいなど、今のところ検討中ではございますが、考えております。以上です。

○竹内委員 いよいよ、ここまで来たのかって感じだけどね。それだけ交通の足がなくなって、運転手がいなくなって、いよいよ一般人がタクシーの運転手代わりに、そういう時代かと思うのですが、これから4市で連携してやっていくわけですから、良い方向で進めてもらうようお願いいたします。

○平石委員長 そのほか、よろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○平石委員長 では、お諮りします。分科会としての賛否を確認いたします。この予算の原案について賛成される方は挙手願います。

(全員挙手)

○平石委員長 はい。全員賛成でございます。それでは、委員長報告書については、御一任いただいてよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○平石委員長 ありがとうございます。おまとめさせていただきたいと思っております。それでは、分科会としての審査は、以上で閉会します。